

実習内容
ならびに
スケジュール

シミュレーション実習

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月				
火				
水				
木				
金	胸腹部の身体診察の手技と シミュレーションの実施	臨床教育統括セン ター教職員	9:30	臨床教育統括センター (1号館4階) 講義室 または 共用カンファレンス ルーム

◎ 診療科名： シミュレーション実習

◎ 責任者氏名： 篠原 尚 臨床教育統括センター長

◎ 指導教員氏名：

臨床教育統括センター

平野 公通 准教授、柏 薫里 講師、山口 円 兼任教員

本間 敬喬 兼任教員、湯浅 真裕美 兼任教員

◎ 実習概要

胸腹部における基本的な身体診察の手技を学び、臨床推論に基づいたシナリオを考えシミュレーションの基本的な技術を学ぶことを目指す。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- ・ 胸腹部における基本的な身体診察ができる。
- ・ 臨床推論に基づいたシナリオ設定を考えることができる。
- ・ シナリオに基づいたシミュレーションが実施できる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- ・ 胸腹部における基本的な身体診察を学習しておくこと（2 時間）。

◎ 評価方法

(知識、技術、態度についてS、A、B、Cで評価。評価基準をルーブリックで明示)。

	S	A	B	C
知識	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技が説明できる。	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技が理解できる。	臨床推論に基づいた胸腹部における身体診察の手技を知ることができる。	胸腹部における身体診察の手技を知らない。
技術	病態に応じた胸腹部における身体診察の手技ができる。	胸腹部における基本的な身体診察の手技ができる。	助言があれば胸腹部における基本的な身体診察の手技ができる。	助言をしても胸腹部における基本的な身体診察の手技ができない。
	臨床推論に応じたシミュレーションを実施することができる。	シミュレーションを実施することができる。	助言があればシミュレーションが実施できる。	助言をしてもシミュレーションを実施することができない。
態度	活発に質問や発言ができ、積極的に実習に取り組むことができる。	質問や発言ができ、実習に取り組むことができる。	質問や発言が少なく、積極的ではないが実習に取り組むことができる。	質問や発言がなく、実習に取り組むことができていない。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

金曜午前・午後のすべてを統合して、知識・技術・態度の評価を行う。

◎ 中間評価とフィードバック

金曜午前・午後の終了時に、その場でフィードバックを行う。

◎ 注意事項

- 当日は 9 時 30 分に 1 号館 4 階臨床教育統括センターの講義室または共用カンファレンスルームに集合すること。
- 集合時間を厳守すること。
- 実習内容は当日説明し、資料も当日に配布する。
- シミュレータを使用しての実習であるが、実際の患者であることをイメージして丁寧に対応すること。
- シミュレーションは実際の患者診療を想定したものであるから、身だしなみにも注意すること。(態度不良は全評価を C 評価とする)
- 本実習は患者の協力を必要としないため、必要があれば他の診療科の実習の予備日に実施する場合がある。その際には本実習の予備日は、別途指示する。